

実績報告書 チェックリスト（基金分）

※国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）を除く

このチェックリストは実績報告書の入力等の誤りをなくし、修正等の事務手続きを軽減するため、その記載事項の主な確認点をまとめたものです（作成上の注意も併せてご確認ください。）。

「交付申請書」「交付決定通知書」「収支簿」「変更承認書」（該当がある場合のみ）等に基づき、個々の課題について実績報告書を作成した後、このチェックリストにより確認し、提出してください（チェックリストの提出は不要です。）。

※補助事業を廃止等した場合は、チェックリストどおりとならない場合があります。

1. 共通事項

チェックの観点	備考
<input type="checkbox"/> 正しい様式を使用しているか。	様式番号が「F-6-2」「F-7-2」となっているか。
<input type="checkbox"/> 全ページが揃っているか。	
<input type="checkbox"/> A4判（縦長）・両面印刷しているか。	「収支決算報告書（様式F-6-2）」と「研究実績状況報告書（様式F-7-2）」は別の用紙に印刷すること。
<input type="checkbox"/> 訂正印及び修正液等の使用がないか。	本様式の作成時に誤入力があった場合には、改めて作成すること。
<input type="checkbox"/> 電子申請システム対応事業の場合、電子申請システムで作成した最終版となっているか。	電子申請システムを使用して作成すること。 全てのページの右上に印字される版数と、科研費電子申請システムで最後に送信した版数は一致させること。
<input type="checkbox"/> 文字化けや誤字・脱字がないか。	文字化けの発生や別の文字として認識される場合があるため、JIS第1水準及び第2水準以外の文字コードや特殊フォントは使用しないこと。

2. 収支決算報告書（様式F-6-2）

2～3頁を参照してください。

3. 研究実績報告書（様式F-7-2）

4～7頁を参照してください。

研究実績報告書の基本的な考え方

科研費は、国民から徴収された税金等でまかなわれるものであり、研究者は、その成果を社会・国民にできるだけ分かりやすく説明することが求められている。

「研究実績報告書（様式F-7-2）」は、補助事業期間全体を通じて実施した研究の成果や研究の進捗状況に関する自己点検による評価等を記載するものであり、国立情報学研究所の科学研究費助成事業データベース（KAKEN）(<https://kaken.nii.ac.jp/>)において広く公開する。研究協力者等の個人名等の個人情報を入力する場合は、本人の承諾を得ること。

様式 F-6-2

科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) (基盤研究 (C) (一般)) 実績報告書 (収支決算報告書)							
独立行政法人日本学術振興会理事長 殿				平成30年5月31日			
研究 代 表 者	所属研究機関の 本部の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇2-5-1					
	所属研究機関 ・ 部局・ 職名	〇〇大学・〇〇研究科・教授					
	フリガナ	〇〇 〇〇					
	氏 名	〇〇 〇〇					
研究課題名		〇〇の××に関する総合的研究		交付を受けた助成金		5,460,000 円	
				直接経費		4,200,000 円	
補助事業期間		平成27年度～平成28年度		間接経費		1,260,000 円	
費目別収支決算表							
□円単位で記載されており、収支簿等と合致しないか。 □「最終年度の実支出額」については利息を含めない金額となっているか。 □主要な物品明細書に記載した金額と合致しないか。							
	合 計	計	計	旅費	人件費・謝金	その他	間接経費
最終年度 前年度までの 実支出累計額 (A)	円 4,550,000	円 3,500,000	円 2,850,000	円 200,000	円 150,000	円 300,000	円 1,050,000
最終年度 の実支出額 (B)	円 910,000	円 700,000	円 350,000	円 100,000	円 50,000	円 200,000	円 210,000
実支出額 (A+B)	円 5,460,000	円 4,200,000	円 3,200,000	円 300,000	円 200,000	円 500,000	円 1,260,000
交付申請書に 記載の合計額	円 5,460,000	円 4,200,000	円 3,500,000	円 200,000	円 0	円 500,000	円 1,260,000
備考欄	□未使用額がある場合には、備考欄に自動で記載される未使用額が、研究機関で把握している未使用額と相違しないか。 ※備考欄に表示される未使用額は返還額となる(ただし、最終年度前年度応募等で交付決定額の全額を受領していない場合には、備考欄に記載された未使用額から未受領額を差し引いた金額)。						□平成30年3月末時点での設置機関名が記載されているか。
主要な物品明細書 ()							
物 品 名	仕 様 型 ・ 性 能 等	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	設置研究機関名 (納入日)		
●▲■×装置	(株) ●▲■ RN-SWR	1	2,500,000	2,500,000	〇〇大学 (H28.12.12)		
●▲■×装置 (共用)	(株) ●▲■ RN-SWR	1	31,500,000	31,500,000 (150,000)	〇〇大学 (H29.10.15)		
●▲■×装置 (合算)	(株) ●▲■ RN-SWR	1	31,500,000	31,500,000 (150,000)	〇〇大学 (H29.10.15)		
西洋中世政治史関係図書 (30冊)	●▲■出版 他	1		652,000	▲▲大学 (H30.1.17)		
□合算使用により購入した場合は、本科経費で負担した額を()書きで記載しているか。							
□該当する主要な物品が全て記載されているか。				課題番号	45		

(注) ・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

補助事業者						
研究代表者及び研究分担者			直接経費		間接経費の 譲渡額	備 考
所属研究機関 ・部局・職名	氏 名	研究者番号	交付申請書記載の助成金額	実支出額		
〇〇大学・〇〇研究科・教授	〇〇 〇〇	10765432	円 3,450,000	円 3,450,000	円 1,035,000	(300,000) ☆☆大学 (735,000) 〇〇大学 変更:平成28年×月×日
〇〇大学・〇〇学部・准教授	×× ××	20456789	250,000	250,000	150,000	□補助事業期間中に所属研究機関を変更した場合には、備考欄に()書きでそれぞれの研究機関への譲渡額(譲渡した研究機関による実支出額の累計額)が記載されているか。
〇〇大学・〇〇学部・助教	☆☆ ☆☆	20345678	250,000	250,000	0	
▲▲大学・▲▲学部・助教	▲▲ ▲▲	20876543	250,000	50,000	15,000	削除:平成30年×月×日
□□大学・□□研究所・教授	□□ □□	30987654	0	200,000	60,000	追加:平成30年×月×日
<input type="checkbox"/> 研究代表者は本様式作成時又は平成30年3月末時点の情報に記載されているか。 <input type="checkbox"/> 研究分担者は、本様式作成時、平成30年3月末又は削除の事実発生日時点の情報に記載されているか。			<input type="checkbox"/> 交付申請書に記載の情報と齟齬がないか。 <input type="checkbox"/> 補助事業期間中に追加した研究分担者については、0と記載しているか。		<input type="checkbox"/> 円単位となっており、収支簿等と齟齬がないか。 <input type="checkbox"/> 補助事業期間全体を通じた間接経費の実支出額となっているか。 <input type="checkbox"/> 平成25年度以前に使用した分については利息を含め、平成26年度以降に使用した分については利息を含めない金額となっているか。	
<input type="checkbox"/> 補助事業期間全体を通じた間接経費の譲渡額(譲渡した研究機関による実支出額の累計額)となっているか。 ※同一機関に所属する補助事業者の間接経費の譲渡額は、任意の二者合計額を記載可。ただし、補助事業期間途中で所属研究機関を変更した場合は、同一機関の合計額には含めないこと。						
計 (小計)	5 名		4,200,000 円	4,200,000 円	1,260,000 円	
課題番号			15K23456		機関番号 12345	

(注) ・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

掲載、発表、発行が確定している研究発表のみの記載となっているか。
 発行年や巻・頁が正しく記載されているか（掲載等後にも関わらず未定となっていないか。）。
 1人で行う研究で、研究代表者が発表等を行っていない場合は、当該課題の成果であるか。

11. 研究発表

[雑誌論文] 計 (2) 件 / うち査読付論文 計 (2) 件 (最終年度分)
 / うち国際共著 計 (2) 件 (最終年度分) / うちオープンアクセス 計 (1) 件 (最終年度分)

著者名	論文標題				
〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, et al.	〇〇〇の研究				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
JOURNAL OF 〇〇〇〇〇〇〇〇	有	1 巻	2017	1 9 ~ 3 2	該当する
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)					
10.1002/abcd123987					
オープンアクセス					
オープンアクセスとしている (また、その予定である)					

電子ジャーナル等でページ数がない場合は「-」、掲載が確定しているが未定の場合は「印刷中」等と記載されているか。

著者名	論文標題				
〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇	〇〇〇の研究				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
〇〇ジャーナル	有	VOL. 13	2017	-	該当する
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

[学会発表] 計 (1) 件 / うち招待講演 計 (1) 件 (最終年度分) / うち国際学会 計 (1) 件 (最終年度分)

発表者名	発表標題		
〇〇 〇〇	〇〇〇の研究の発展的展開		
学会等名	発表年月日	発表場所	
応用〇〇学会 (招待講演) (国際学会)	2017年07月10日~2017年07月13日	〇〇国際会館 (東京都千代田区)	

都市名、都道府県、会場名等、できるだけ具体的に記載されているか。
 海外の場合には国名も記載されているか。

(課題番号: 15K23456)

(注) ・印刷に当たっては、A4判 (縦長) ・両面印刷すること。

[図 書] 計 (1) 件 (最終年度分)

著 者 名	出 版 社		
〇〇 〇〇、〇〇 〇〇、〇〇 〇〇、〇 〇 〇〇、〇〇 〇〇、〇〇 〇〇、〇〇 〇〇、.....、〇〇 〇 〇 他	〇〇〇出版		
書 名		発 行 年	総ページ数
〇〇〇〇〇〇		2017	525 (123-139)

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

[出 願] 計 (1) 件 (最終年度分)

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別
〇〇の〇〇技術	〇〇 〇〇	〇〇大学	特許、特願2017-217666	2017年6月1日	国内

[取 得] 計 (1) 件 (最終年度分)

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
〇〇技術	〇〇 〇〇	〇〇大学	特許、特許第3784444号	2017年9月1日	国内
				出願年月日	
				2015年9月1日	

13. 科研費を使用して開催した国際研究集会

[国際研究集会 計 (1) 件 (最終年度分)]

国際研究集会名	開催年月日	開催場所
〇〇〇〇	2017年7月10日～2017年7月13日	〇〇国際会館 (東京都千代田区)

14. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況 (最終年度の研究成果)

(1) 国際共同研究 : 国際共同研究である

都市名、都道府県、会場名等、できるだけ具体的に記載しているか。
 海外の場合には国名も記載されているか。

共同研究相手国	相手方研究機関			
アメリカ	〇〇大学	〇〇大学	〇〇研究所	他 2 機関
ドイツ	〇〇大学	〇〇大学	〇〇研究所	他 2 機関
フランス	〇〇大学	〇〇大学	—	他 機関
ロシア	〇〇大学	—	—	他 機関
中国	〇〇大学	—	—	他 機関
他 2 か国				

□相手方研究機関が3機関を超えない場合は、「他〇機関」とまとめずに、それぞれの研究機関名が記載されているか。

15. 備考

□共同研究相手国が5か国を超えない場合は、「他〇か国」とまとめずに、それぞれの国名が記載されているか。

〇〇〇〇研究室ホームページ
<http://monnbudai.gaku.com/tokyo/kakenhi/seika>